

區部支辨  
七厘部支辨  
並樹敷貸金  
國庫下渡金  
トアルハ同

- 全年全月廿九日分  
青木 信實  
犬塚 重遠
- 二月十三日分  
從五位勳五等 坂本 政均
- 全月三日分  
正七位 上村 直則  
從七位勳六等 佐久間義一郎  
全 三善 克巳  
全 植村 永半  
全 野田 洪哉  
全 池田 泰次  
全 千早正次郎

### 時事新報

米國叢談

社友村井保固氏ハ明治十二年九月ヲ以テ東京ヲ發シ大平洋ヲ航シテ桑港ニ達シ紐育ニ赴キ同府某商社ニ事務ヲ執リ留リ居ルコト三箇年餘本月ヲ以テ一旦歸國シタリ依テ同氏ニ就テ彼地ノ景況ヲ叩キ余輩ノ感覺ヲ惹起シタルモノ少カラス即チ之ヲ編録シテ讀者ニ分クントス凡ソ本邦人ノ彼地ニ渡航スル事々物々意思ノ外コアラサルモノナシト雖モ船車上下ノ便利快速ナルト市街樓閣ノ廣大壯麗ナル如キ尤一驚ヲ喫シ恰モ神通力ヲ以テ別乾坤ヲ創造スルモノ、如ク思ハル而シテ國內交際ノ頻繁ナル事務ノ多忙ナル夜以テ日ヲ繼キ暫クモ已ムコトナキノミナラス大西洋ヲ隔テタル歐洲諸國ノ事ヲ聞クモ一日ヲ隔テス一國內ノ事ヲ聞クカ如シ願ミテ東洋ノ動靜ヲ回視スレハ一モ社會ニ影響ヲ及ホス程ノ事件アラズ偶々其事アルモ彼國人ハ社會有用ノ談柄トナサスシテ却テ一種奇異ノ茶話トナシテ之ヲ傳フルノミ殊ニ東洋ノ一部ナル日本帝國ノコトニ至リテハ尤モ稀ナリトス故コト日本人ニシテ米國人ニ交ル支那人種ト同一視セラレテ自ラ輕侮セラル、タ免レズ佞令店頭ニシテヤツパンノ大招牌ヲ掲グルモ日本ハ則チ支那ノ一部ナリト誤認スル者多シ故チ以テ彼地ニアリテハ獨リ日本ノ振ハサルヲ歎スルノミナラス實ニ東洋ノ振起セサルヲ患フルノ念最モ切ナリ但日本ト交際ノ密ナル同國人ハ頗ル鄭重ニ待遇スルモノナキコアラスト雖モ永ク彼地ニ留リテ深ク彼ノ事情ニ通スレハ愈益感慨ニ堪エサルモノ多キニ至ル

元來彼國人ノ獨立ノ精神ニ富ミ職業ニ勉強スルハ非常ノコトシテ人々相競フテ生活ノ快速ヲ是レ求メントス故コト富シテ愈修リ修リテ愈勉強シ以テ生計ノ困難ヲ來スコトナシ即チ人間最大ノ目的ハ生活ノ快速ニシテ各自其爲サントスルコトヲ勉メ復餘念アラサルモノ、如シ是國一般ノ習俗ナリト雖モ又教育ノ然ラシムル所ナラシ凡ソ彼國ノ子女ヲ育スル幼稚ノ時ヨリ各其見ノ好ム所ニ從テ自在ニ行爲セシメ敢テ之ヲ抑制スルヲ用ヒヌ又五六歳ノ時ヨリ毎月少額ノ金錢ヲ與エ兒ノ私有トナシ其好ム所ノモノ

ヲ購求スレハ其金ヲ以テ仕拂ハシムルコト多ク物ヲ購エバ餘錢愈少キヲ慮ヒ儲ニ蓄積ノ念ヲ起シ驕實ノ風自ラ熄ムニ至ルト此等ノ情況日本ト大ニ其趣ヲ異ニスル所ナリ

彼國一般人民ノ國家ノ利害ニ注意スルハ其職業ノ如何ヲ問ハス男女ヲ擇ハス多少政事思想ヲ有セサルモノハアラス然レモ大抵二三先覺者ノ言行ニ就テ其方向ヲ定メ深ク其理否曲直ヲ究メサルノ狀ナキコアラズ特リ大統領選舉ノ時ニ臨ンテハ全國舉テ在スルカ如ク各其黨ノ勢ヲ張ラシカ爲メニ種々ノ手段ヲ用ユルコトアリ其一二ヲ掲クレハ市街各酒店ニ於テ兩黨候補者ノ肖像ヲ畫キタル扁額ヲ掲ケ自黨ノ人物ハ莊嚴正直ノ意ヲ表シ他黨ノ人物ハ卑醜猥惡ノ態ヲ寫シ看者ヲシテ自然好惡スル所アラシム又壯年隊伍ヲ編シテ市中ヲ橫行シ大旗(自黨ノ候補者ガ他黨ノ者ヲ或ハ押エ付ケ或ハ附付ケルノ狀ヲ寫ス)ヲ立テ大號ヲ鳴シ虛聲ヲ張ル等ノ事アリ亦以テ一般人民ノ風氣ヲ見ルニ足ル而シテ世自ラ政事家ヲ任シ社會ニ運動スル者ハ大抵富有ノ人ニ限ルモノ、如シ即チ代言師ノ如キ其多キニ居ル又演說會ノ設アルモ平時コアリテハ商業學術技藝等ニ係ルコト多クシテ政事ニ關スルコト甚稀ナリ

彼國每州各其法律ヲ異ニシ境ヲ接スルモノモ素ヨリ利害ヲ異ニスルヲ以テ各自其州ノ便利ヲ謀ルハ自然ノ情ニシテ互ニ相容レサルモノアリテ或ハ他國ノ看チナスガ如キモノナキコアラズ然レモ一國ノ憲法ハ各州均シク之ヲ遵守スルハ勿論其一般公共ノ利害ニ注意シテ而モ愛國心ニ富ムコト亦甚盛ナリ米人常ニ日本ハニ向ツテ米國ノ景況果シテ如何ノ看チナスカト問ヒ日本ト比較シテ何レカ快速ナルヤト暗ニ自國ノ富強ヲ誇示スルノ風アリ又王國人ノ米國帝王ナリト云フコト答ヘテ米人ハ五千萬ノ帝王(即チ人民)アリトテ意氣揚々自得ノ風アルハ他國人ニ其類ヲ見サル所ナリ

彼國人ノ感覺ニ最モ敏キハ即チ各自ノ利害ニ關セルコトニシテ權利ノ爭ヨリ寧ロ財產ノ爭ニ傾クモノト云フヘシ故ニ租稅ノ増減ノ如キ各自ノ利害ニ關スルモノナラス大ニ商業上ニ影響ヲ及ホスモノナルヲ以テ殊ニ注意ノ切實ナル所トス現ニ本年ノ國會ニ於テハ「アモクラット」黨勢力ヲ占メタルヲ以テ其平素ノ主義トスル減稅論ヲ實行スルニ至ルベシトノ野アリテ現ニ絹布輸入稅六割ヲ減シテ四割トナサントスル議ヲ提出シ其織工場生糸商等ニハ大關係ヲ有スルコトナレハ種々計畫スル所アリト近來レバ「フリカン」ハ勢力頗ル衰ユタルカ如シト雖モ有爲才量ノ人物ニ乏シカラス加フルニ全國ノ輿望ヲ有スルヘラド新聞カ政黨ヲ贊助スルモノナルヲ以テ此新聞ノ爲メニ輿論ヲ左右スルノ力甚ク多ク來年大統領選舉ノ如キモ其膠

條實美  
縣函館札  
府府縣  
十八號建廢  
條實美  
縣函館札  
府府縣  
十八號建廢  
條實美  
縣函館札  
府府縣  
十八號建廢

小島 政憲

敗遊未ヲ知ル可カラザルモノアリ(該新聞ハ政府黨ヲ賛成スルモノナレド政府ヨリ保護金ヲ受クル等ノコトヲアラフザルコトナリ) (未完)

雜報

○兵備書御參考 陸海軍擴張の 聖旨に基き同軍省にて兵員兵器軍糧等増加の方法の既ニ概察調ひしを以て大山河村の両卿より兩三日前行明細書を奏上されしに付 聖上には深く敬意を留めさせ給ひ昨今歐米各國の兵備書と御參考中と承る

○皇居御近火の方位 赤坂飯皇居御近火の方位を今般左に通り定先られしに付昨日徳大寺宮内卿より夫々へ心得の爲達せられたり (東の方) 麴町區紀尾井町、麴町七、八、九丁目(西の方) 四谷區寺町、東信濃町、飯橋南町、青山權田原町、向六軒町、同三筋町一丁目、四谷南町、同須賀町一(南の方) 赤坂區表一三三四丁目、同裏一三三三丁目、同二丁目、同丹後町、向臺町、同新坂町、同田町一、二丁目(北の方) 四谷區傳馬町一丁目、同新傳馬町一、二丁目、同換町一丁目、同籠笥町、同南伊賀町、同尾張町、麴町十一、十二、十三丁目、同仲町一、二、三丁目

○野村驛遞總監 同官より先日來熱海温泉へ赴れ居りしが去る十七日歸京されぬ  
○三島通庸君 三島福島縣令より御用に付該縣を昨十九日發途せられ晝夜兼行よての出京されば多分明二十一日着京あるべしと云  
○三宅秀君 東京大學教授三宅秀君より本日今般出京に各府縣衛生課長及び病院長の諸君を饗應の爲め芝離宮を拜借して饗宴を開くるべしと云  
○角田秀松君 角田海軍少佐ハ此程水雷局副長を命せられぬ  
○明治會堂宴會 昨十九日の雜報欄内ニ醫員會議と題し木挽町明治會堂に於て各醫員が施療病院の事と議せらるゝよしを記載せしが右の誤聞にて同日の成醫會長高木兼寛君幹事松山棟庵、隈川宗悅、安藤正胤、新宮涼園の諸君其他同會員四五十名々々今回衛生諮問會に出京せられし各府縣の衛生課長病院長凡七十餘名を招待して一大宴會を開かれしありと云

○英國公使書翰 去る二日附を以て在日本英國公使より我が外務卿宛にて送られたる書翰は「以書翰致啓上儀陳者ニコラスセ、ハンナン氏儀今般我皇帝陛下の命に依り在日本英國裁判所判事に任せられ昨日横濱に到り執務致候過般來該裁判所判事代たりしラッセル、ロベルトソン氏輔奈川判事に復任し其職掌に因て同裁判所判事補兼勸業局長又セ、エンス、長は神戶總領事英國領事に任せられ同領事向分發(中略)以上三人補任の備置國地方官へ通知有

之度此段御報旁及御依頼候敬白とありたり  
○解雇 陸軍各樂隊御雇教師佛國人ダクローン氏ハ滿期ニ付解雇あり近々一ト先歸國せらるゝよし  
○朝鮮彙報 支那上海よりの報に觀察唐景星ハ軍艦與盛號ニ搭ヒ朝鮮南陽灣ヲ上海ヨ來キ此船ハ閔泳聖及李祖淵も乗込居れり(前報ハ閔氏等の上海ニ到るとは此の事あり)唐觀察の韓地を在る首として金銀、銅、鉛、煤の諸礦の所在を視察せり然きども大雪の爲先精しく視る能ハズ來春雪融の後更ニ查究する所あらんとす云○櫻藤德(モルレンドルフ)は現ハ韓廷ニ品官ニ任せられ専ら機務衙門に出勤する由  
○參事院 同院ハ昨今餘程事務繁劇と見ヘ田中副議長を始め諸議員は午後七八時頃あらでは退院さきて

○高等法院 同院にてハ一昨十八日日曜休暇にも拘りらず福島事件の豫審調べハ付掛判事の出院の上取調べありて退院の頃ハ午後六時ありしと云  
○昇等交任 本年陸軍尉官軍吏軍醫等進級條例ハ依り昇等すべき分の本月中及び來る四月七月の三度ハ區別して昇等交任せしめらるゝ事ハ今の程内決されしといふ  
○金圓支給改正 自今各兵員滿期除隊の節金員支給ハ方法改正の義を其筋に於て昨今協議ある由  
○暗號電信ハ改正 近日官報電信暗號文の改正あるに付佐々木工部卿ハ一兩日前内閣へ出頭されて大臣參議へ右文案の協議ありしと  
○木船取調 農商務省ハ於てハ今度木造船の製造規則を改正せらるゝに付目下同省管船局ハ取調中なりと  
○主金課 今般太政官中へ大藏省主金課の出張所を設けられたり  
○裁判所合併 先般司法省よりハ連日依り丹波篠山播州明石の治安裁判所ハ本月上旬引拂ひとあり更ニ神戸始審裁判所へ合併せし旨此頃其筋へ上申ありたる由

○職工規則改正 大藏省印刷局にては近々職工規則の内數件を改正せらるゝよし  
○遊就館出品 九段阪上靖國神社境内遊就館へ此程更ニ卅四品陳列せられし内ハ最も珍品といふべきものハ破羅漢砲一名佛狼機砲目方一貫九十目丈一丈筒口三寸にて該品は天正年中島津義久ハ大友統と攻め獲たるものよし又東久世通勝君出品本多平八郎忠勝所持血付ハ鷹及び蜻蛉切の鎗ハ花房義賢君出品の朝鮮古製馬具一式渡邊清吉出品の蒙古製の兜にて

該品は既に六百餘年の星霜と經ハ観覽人々尤も眼を注ぐべき也  
○陸軍大學校 本年陸軍大學校步兵科十四名騎兵科一名の成期附の中少尉の内より擢拔せらるゝ  
○比叡艦 同艦ハ念來廿三日を以て派遣せしめらるゝ由尤滯港凡四と交代し且滯港中ハ月三三回任務上通信の便を開かるゝと云  
○清國軍艦遠遊 嘗て清國よりハ注文せし第二號甲鐵艦遠遊ハ冰式を行ひし由其船体は左の如し  
長サ 九十一味得 噸數 八十八味得  
幅員 十八味得 馬力 六味得  
吃水 六味得 速度 六味得  
又右の甲鐵艦ハ水雷火船二隻を搭半にして裝備の諸器械も充分と整云ふ

○福州馬尾の船政局 清國福州馬尾ハ是迄製造せし兵艦の數ハ二十三が又去月十一日新造の下水式をひらりと云ふ  
○釣橋架替 皇城内の釣橋ハ愈石又決し近々より着手せらるゝといふ  
○小野田二等警視 昨日午前九時の馬車ハ麴町分局より順路辰の口怖ぢてカ馬が荒出し馱者の顛りと云ふ  
○口方より二等警視小野田元照君れしハ斯くと見るより車夫ハ坳端停馬ヲ遣り過さんと思ひの外荒ハ一目散ニ引掛り來て小野田君のどて水中へザンナと飛入り爲め小野田君夫諸共濠中に陥りしハ直ニ出も出張し皇城建築御用材木揚場ニ來り杉丸太を掛けて足代となす内(泳き若かれ續て車夫并に馱者馬工しハ少しの打傷ハあれども幸にしてあく同君ハ直ハ他の人力車にて出馬ハ脚死しと云ふ又驛遞局より官馬車人力車を引揚られしが聞くも危

○鐵鑿成此翁 飯倉三丁目ハ住はれハ一等馬と勤めらるゝ勤六郎田諸族にて今年七十三歳の高齡あるケ其廉將軍馬伏也ハ許易する程ハて氣力丁壯者として職服せしむるも今其